

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2016-124948(P2016-124948A)

【公開日】平成28年7月11日(2016.7.11)

【年通号数】公開・登録公報2016-041

【出願番号】特願2014-265988(P2014-265988)

【国際特許分類】

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 L 51/06 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 67/02

C 0 8 L 51/06

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリブチレンテレフタレート樹脂と、異形比 1 . 5 以上 5 . 0 以下の断面を有する繊維状充填剤と、エラストマーと、を含み、

前記エラストマーが、マレイン酸及びその酸誘導体からなる群から選択される 1 以上をグラフト重合した変性エチレン系共重合体であり、

幅 2 1 mm × 9 0 mm × 9 0 mm、平均厚さ 1 . 6 mm の L 字型のステンレス製板状部材の表面を、平均厚さ 1 mm となるように被覆してインサート成形品としたとき、下記条件を満たす、インサート成形用樹脂組成物。

< 条件 >

前記インサート成形品に対し、冷熱衝撃試験機を用いて、 - 4 0 にて 1 時間 3 0 分冷却後、 1 4 0 にて 1 時間 3 0 分加熱する過程を 1 サイクルとする耐ヒートショック試験を行った場合、前記インサート成形品にクラックが入るまでのサイクル数が 2 0 0 以上である。

【請求項 2】

前記異形比が 2 . 0 以上 4 . 0 以下である、請求項 1 に記載のインサート成形用樹脂組成物。

【請求項 3】

前記エラストマーの含有量が、前記ポリブチレンテレフタレート樹脂 1 0 0 質量部に対して 5 . 0 質量部以上 3 0 質量部以下である、請求項 1 又は 2 に記載のインサート成形用樹脂組成物。

【請求項 4】

導電性の板状部材にインサート成形するために用いられる、請求項 1 から 3 のいずれかに記載のインサート成形用樹脂組成物。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載のインサート成形用樹脂組成物からなる樹脂部材と、導電性の板状部材と、を備え、

前記板状部材が、前記樹脂部材にインサート成形されたものであり、

前記板状部材の厚さが平均 3 mm 以下である、インサート成形品。

【請求項 6】

前記樹脂部材の厚さが平均 3 mm 以下である、請求項 5 に記載のインサート成形品。